

公益社団法人日本水道協会中部地方支部
中部地方下水道協会

令和2年度 技術技能研修

〔広域連携による「水」の人づくり〕

委託業務実施報告書



開催地 名古屋市

コース名	日 程 (実施日)		募集定員	受講者数	受講料
水道一般の基礎技術	第1回	令和2年11月11日(水)～13日(金)	16名	11名	18,000円
	第2回	令和2年11月18日(水)～20日(金)	16名	8名	
下水道一般の基礎技術	令和2年11月25日(水)～27日(金)		18名	9名	18,000円
(開催中止) ポンプ設備の基礎技術	第1回	令和2年6月3日(水)～5日(金)	18名	-	18,000円
	第2回	令和2年6月10日(水)～12日(金)	18名	-	
計装設備の基礎技術	第1回	令和2年12月3日(水)～5日(金)	18名	7名	12,000円
	第2回	令和2年12月10日(木)～12日(金)	18名	7名	
(開催中止) シーケンス制御の基礎技術	令和3年1月14日(水)～15日(金)		18名	7名	12,000円

研修内容

水道一般の基礎技術

開催日 第1回：令和2年11月11日（水）～13日（金）

第2回：令和2年11月18日（水）～20日（金）

研修日	研修施設	研修内容	手法	開始時間	終了時間
1日目	技術教育センター	開講式、オリエンテーション		9:00	9:15
		給水装置概論	講義	9:20	10:40
		水質の知識と水質管理	講義	10:50	12:00
		漏水判定手法について	講義	13:00	13:15
		水質簡易試験等及び漏水判定	実技	13:25	16:15
		漏水防止機器の操作及び漏水の調査	実技	13:25	16:15
		質疑・応答	質疑	16:30	17:00
2日目	技術教育センター	配水管技能の基礎知識	講義	9:00	9:50
		配水管の接合（K・F・NS）	実技	10:00	16:30
		質疑・応答		16:30	17:00
3日目	技術教育センター	配水管の接合（GX）	実技	9:00	11:10
		配水用ポリ管接合	実技	9:00	11:10
		バルブ操作について	講義	11:20	12:00
		バルブ操作実習：ソフトシール弁操作	実技	13:00	15:50
		バルブ操作実習：J I S 仕切弁操作	実技	13:00	15:50
		バルブ操作実習：カットモデル説明	実技	13:00	15:50
		バルブ操作実習：大型バルブ説明	実技	13:00	15:50
		修了式		16:00	16:30



水質簡易試験実習（残留塩素測定）



GX形継手解体実習

令和2年度 技術技能研修「水道一般の基礎技術」受講生の主な感想

【講義】給水装置概論

- ・ 各自治体で考え方が少し違うことがわかり、参考になったところは本市でも検討しようと思った。
- ・ 水道法などの例が載っていたのでわかり易かった。
- ・ 直結給水のメリット等を聞くことが出来、業務にいかせる知識となった。
- ・ 水道事業とお客様とのすみわけが分かった。

【講義】水質の知識と水質管理

- ・ 基準の根拠となることや原理など水道に携わる職種として知っておいた方が良いことなどを学びました。
- ・ 今年度、改定された六価クロム化合物0.05→0.02等近況の情報もあって良かった。
- ・ 残留塩素の測定以外を知れて良かった。
- ・ 水質維持の重要性を改めて理解できた。

【講義・実技】水質簡易試験等及び漏水判定(主に漏水判定手法)

- ・ 実際の業務でも使用する機材や使用したことのない機材を経験でき、とても良かったです。
- ・ 普段、洗管時にしか残塩検査をしないが、電気伝導率等でも水質試験が出来ることが勉強になった。
- ・ 実際に測定し、手順等が良く理解できた。
- ・ 「水質の知識と水質管理」の講義でよくわからなかったところも、実際に行ってみるとわかる所が多くあった。

【実技】相関式漏水探知機

- ・ 漏水探知機は所有しているが、使用方法が分からなかったので実際に説明してもらい使用したので今後活かしていきたい。
- ・ 水質による漏水判定同様、実際の業務に関する内容を学ぶことが出来、良い経験になりました。
- ・ 仕組みや理論が知れたので現場でも使える知識となった。
- ・ 自分で漏水調査をする機会がないので、良い経験が出来たと思う。

【講座】配水管技能の基礎知識

- ・ GX管をあまり扱ったことがなかったが、来年から増えそうなので今回話が聞けたのが良かった。
- ・ 管の規格や種類などの基礎を詳しく学びました。
- ・ 普段の業務で使える知識が多く勉強になった。
- ・ 写真を見ながらの説明で分かり易かった。

【実技】配水管の接合

- ・ ミリ単位での接合が必要であり、チェックシート等業者への指導をしっかりしていけないと思いました。
- ・ 普段、施工することはないので、自分でやることによって業者がどんなことをしているのかチェックできると思う。
- ・ 実際に自分で作業することで注意点などがとても分かり易かったです。
- ・ 今まででは接合を見ているだけだったが実際にやると大変で良い体験だった。
- ・ 予想以上に力作業が多くとても疲れた。体力不足を感じた。

【実技】配水用ポリエチレン管接合

- ・ ポリ管の接合についてかなりデリケートだとわかったので業者への指導が必要だと感じた。
- ・ 実際に自分で作業することはありませんが体験することで手順や注意点を学ぶことが出来ました。
- ・ 配ポリの施工のしやすさ、注意すべき点が良く分かった。
- ・ 初めて融着接合を行ったが、接合が容易で、管も軽く、非常に扱いやすかった。

令和2年度 技術技能研修「水道一般の基礎技術」受講生の主な感想

【講義】水道用バルブ類の操作要領

- ・配管内の空気の流れが目で見えて分かり易かった。
- ・バルブの種類ごとの回転数や特徴など分かり易かったです。
- ・回転数の許容差がメーカーによって回転数に差があることを知った。

【実技】バルブ操作実習

- ・通常だとみることのできない管内での水の動きを見ることが出来とても分かり易かったです。
- ・ソフトシール仕切弁は遊びがなく、開度が少ないうちに流量が多くなるのが勉強になった。
- ・カットモデルでの説明があり、理解することが出来た。
- ・ソフトシール仕切弁は、少し回すだけでも大量の水が出るため、今後気を付けて操作しないといけないと感じた。

質問(1)なにかお気づきの点がございましたらお聞かせください

- ・業務上、自分で作業をすることのない配管の継手等を経験でき注意する点などがとても理解できました。
- ・実技の研修が多く非常に有意義でした。
- ・座学と実技のバランスが良かったと感じた。
- ・これだけの設備の揃った研修所で学ぶことが出来てうれしく思います。
- ・様々な器具を触ることだ出来、より理解が深まりました。

質問(2)研修環境についてお聞かせください

①運営方法について

- ・感染対策をしっかりとられていて安心して受講できました。
- ・講師の方が多く質問がしやすかったです。昼食があるといいと思いました。
- ・3日間という集中して学べる機会があつて良かった。コロナ対策として考えても、今の時期が環境としてもよい(暑くなく、寒くなく)と感じた。
- ・講義後、すぐに実習に移ることが出来て効率的に学ぶことが出来て良いと思います。
- ・コロナ禍の中での開催だったが、対策がしっかりとられていて安心して参加することが出来た。

②実習設備について

- ・透明な管の通水はとても参考になりました。
- ・スペースが広く安全に配慮されていたと思います。
- ・実際に工事現場で使用する材料等の内部を見ることが出来たり、とても良い経験が出来ました。
- ・実際の作業環境に近い部分もあり、作業員の仕事を身近に感じられた。
- ・とても充実した実習設備があり、体感できて良かったです。今回はコロナの問題や各自自治体で、日程的、費用的に難しいかもしれませんが、このような機会を増やすことが出来たらありがたいと思いました。

質問(3)今回の研修について、全体をとおしてどのように感じられましたか

- ・給水装置や配管についてなど基礎知識を幅広く勉強出来て良かったと思う。通常業務では老朽管更新などの仕事をしているの、図面の書き方(空気弁を付けた方が良いところや、吐出し弁をつける場所など)講義をもう少ししていただきたいと思う。
- ・水道の仕事がこんなに体力を使う仕事だとは思いませんでした。今後知識はもちろんのこと、体力もつけていかないといけないと思いました。
- ・バルブ操作の難しさを改めて感じました。普段は施工業者が施工するため、ほとんど実習することはない。したがって技術レベルを向上させる機会は少ないですが、トラブル時や災害時の対応には技術的な知識は必要不可欠であり、技術を継承するうえでも今回のような研修は貴重であります。

研修内容

下水道一般の基礎技術

開催日 令和2年11月25日（水）～27日（金）

研修日	研修施設	研修内容	手法	開始時間	終了時間
1日目	山崎実習所	開講式・オリエンテーション		9:00	9:20
		下水道管路施設の計画・設計	講義	9:25	12:00
		排水設備概論	講義	13:00	14:15
		下水道管路施設の維持管理	講義	14:25	16:50
		質疑応答		16:50	17:10
2日目	山崎実習所	水質の基礎と水質管理	講義	9:00	10:00
		下水処理場見学	見学	10:10	11:00
		汚泥処理場見学	見学	11:20	12:00
		水質簡易試験：BOD、MLSS	実技	13:00	16:00
		水質簡易試験：透視度、SV、pH	実技	13:00	16:00
		水質簡易試験：検鏡（生物試験）	実技	13:00	16:00
		水質簡易試験：残留塩素、COD、バックテスト	実技	13:00	16:00
		下水道管路施設の地震対策	講義	16:10	16:45
		意見交換会		16:45	17:00
3日目	技術教育センター	下水道管施工管理	講義	9:00	10:20
		下水道用管資材検査	講義	10:30	10:45
		下水道用管資材検査	実技	10:55	12:00
		屋外排水設備実習	実技	13:00	13:20
		屋内排水設備実習	実技	13:00	13:20
		下水取付管及び管内調査作業（下水管路管理業協会）	実技	13:30	16:10
		質疑応答・修了式		16:15	16:30



水質簡易検査実習（生物試験）



下水取付管TVカメラ調査実習

令和2年度 技術技能研修「下水道一般の基礎技術」受講生の主な感想

【講義】下水道管路施設の計画・設計

- ・ 担当している係が主に設計業務で、計画については他の係が担当しているため計画から設計の大まかな流れを知ることが出来た。
- ・ 興味深い内容でよく理解できた。説明者も丁寧に説明され好印象でした。
- ・ 施設についてメインに仕事をしてきたが、知らないことが多かったので新鮮だった。

【講義】排水設備概論

- ・ 本市でも事業場からの排水が原因で年に10件ほどロードによる本管のつまりが発生しているため、排水設備の構造を理解し、適切な指導をしていきたい。
- ・ 宅内についての事を学ぶ機会はなかったのが良かった。
- ・ 飲食店から出る油など具体的な事例であり、分かりやすかった。

【講義】下水道管路施設の維持管理

- ・ 維持管理の仕事をしているので、いかしたいと思った。
- ・ 本市では市内中心部は合流管が整備されており、耐用年数が経過しているものがあるため、研修の内容を活かし、管路の点検調査及び修繕改築計画を行っていきたい。
- ・ 不明水対策をもっと深く知りたい。

【講義】水質の基礎と水質管理

- ・ 本市では処理場を有していないため、実務にはあまり関わりがないが、どのような指標をもとに水質を管理しているかを知ることが出来た。
- ・ 水質の基礎を学べた。

【見学】山崎水処理センターと山崎汚泥処理場

- ・ このような機会はあまりないので、現場を見ることで、どのような流れで汚水が処理されているかを知ることが出来た。
- ・ 現地を見学させていただき、目で理解することが出来た。

【実技】水質簡易試験

- ・ 水質試験は複雑なものだと認識していたが、簡易な機器で大まかな数値を測定できることを知ることが出来た。
- ・ 実際に自分でやってみたり、目の前で見ることにより、よく理解できた。

【講義】下水道管路施設の地震対策

- ・ 災害時に迅速に対応が出来るように本市の資材管理状況などを今一度確認しようと思いました。
- ・ 現在の業務に直結する内容で大変参考になりました。
- ・ 地震対策はこれから重要であると感じた。

【講義】下水道管施工管理

- ・ より実務に近い講義であったため、とても身になった。
- ・ 施工管理上の注意点が分かった。

令和2年度 技術技能研修「下水道一般の基礎技術」受講生の主な感想

【実技】下水道用管資材検査

- ・ 資材を検査するポイントを細かく知ることが出来たので工事発注の材料検収に活かしていきたい。
- ・ 細かく見てみると不良部分がいくつもあり、気を付けようと思った。

【実技】屋内屋外排水設備実習

- ・ 屋内の排水設備を細かく見る機会がないので、とても身になった。
- ・ トラップの封水が破られる状況等を目で見る事が出来て良かった。
- ・ 宅内の設備の見えないところが可視化されて良かった。
- ・ ディスポーザの構造について理解が深まりました。
- ・ 工場等からの排水について苦労しているので仕組みが分かり勉強になった。

【実技】下水取付管及び管内調査作業

下水管の洗浄を頼んだことはあったが実際に見たことはなかったのでいい機会であった。

TVカメラによる管内調査作業について、現在、実務として作業中であるのでタイムリーな内容であり、さっそく研修での知識を活用したいと思います。

実際に施工業者の方にいろいろ教えていただき非常に役に立った。

質問(1) 今後どのような研修が必要と思われますか。

- ・ 不明水、管渠調査についての研修。これからどんどんやっていくため。
- ・ 自治体の職員はなかなか現場を見ることが出来ないのもっと詳しく現場の事について知れる研修があったらよいと思う。
- ・ 施設についてももう少し詳しく知りたかった。

質問(2) 研修環境についてお聞かせください

① 運営方法について

- ・ スムーズに進んで分かり易かったです。
- ・ 今回はコロナの感染防止のためにいろいろ配慮していただき、安心して研修を受けることが出来たと思う。
- ・ 名古屋市で実際に下水道の業務をされていた方が講師をやっていたので実務的で分かり易かった。

② 実習設備について

- ・ だいたい下水道管理者として必要な大枠の項目になっていると思います。市町村にとって現実的なものでした。
- ・ 設備がとても充実していた。
- ・ 見学等で実際に目で見れるようにしていただけたのが非常に良いと感じた。
- ・ 設備がとても整っており、処理場とも隣接しているため、下水道について学ぶには良い環境だと思いました。

質問(3) 今回の研修について、全体をとおしてどのように感じられましたか

- ・ 日常業務の中でやってきたことの根拠法令などを知ることが出来た。
- ・ 講義と見学、実技がバランスよくあって良かった。見学、実技が自分の今後のためになったと非常に感じる。
- ・ 下水道の基礎の基礎から教えていただいたので、とても丁寧な印象を受けました。配属されてすぐの方も十分に理解できると思います。

研修内容

計装設備の基礎技術

開催日 第1回：令和2年12月 3日（木）～ 4日（金）

第2回：令和2年12月10日（木）～11日（金）

研修日	研修施設	研修内容	手法	開始時間	終了時間
1日目	山崎実習所	開講式・オリエンテーション・自己紹介		9:00	9:30
		計装設備の基礎知識	講義	9:30	10:30
		自動制御の基礎知識	講義	10:40	12:00
		計装機器の取扱いと調整方法：PID	実技	13:00	16:00
		計装機器の取扱いと調整方法：計装ループ	実技	13:00	16:00
		計装機器の取扱いと調整方法：各種水位計の原理と取扱	実技	13:00	16:00
		計装機器の取扱いと調整方法：測定機器の取扱い	実技	13:00	16:00
		計装について	講義	16:00	17:00
2日目	山崎実習所	計装機器の取扱いと調整方法：PID	実技	9:00	16:00
		計装機器の取扱いと調整方法：計装ループ	実技	9:00	16:00
		計装機器の取扱いと調整方法：各種水位計の原理と取扱	実技	9:00	16:00
		計装機器の取扱いと調整方法：測定機器の取扱い	実技	9:00	16:00
		情報交換		16:00	16:15
		修了式		16:15	16:30



計装機器の取扱いと調整方法：PID



計装機器の取扱いと調整方法：水位計

令和2年度 技術技能研修「計装設備の基礎技術」受講生の主な感想

【講義】計装設備の基礎知識

- ・ 計装設備の基本構造や、どこで使用されているかを学べてよかったです。
- ・ 計装設備の仕組み等の知識がない状態だったため、基礎知識としては有意義だった。
- ・ 計装について、意味の理解等あいまいな部分が多かったが、その部分が理解できて良かった。
- ・ 専門用語が多く、やや難しかったです。現場の経験に基づいたお話が聞けて興味深かったです。
- ・ 一般的な知識の羅列ではなく、講師の方の経験をもとにした現場で役立つ話を聞くことが出来た。周囲にはこんなに知識のある人はいない。

【講義】自動制御の基礎知識

- ・ PID制御について細かい原理まで理解していなかったので、ここで学ぶことができよかったです。
- ・ 自動制御なので何がどのように制御されているのか、あまりわからなかったが基礎知識を教えてもらったことで少し理解できるようになった。
- ・ 疑問と思っていたところが、講義の内容にて理解できました。
- ・ 今まで難しくとらえていて分からない部分が多かったが、比例、積分、微分の3つの制御があることが分かり理解が深まってよかった。
- ・ PID制御はこれからもっと勉強していきたいです。
- ・ 優しい言葉で理解のペースに合わせていただいたので良く理解できました。

【講義】計装について

- ・ 元水道局の方の経験を聞くことができ、とても勉強になったので、今後の業務にいかしていきたいです。
- ・ 他団体の方も同じような悩みがあるんだと感じた。
- ・ 失敗して覚えていくことも大切だと再度実感できた。
- ・ 講師の方の経験談を聞くことが出来るとも参考になった。
- ・ 計装単体の知識では使えないとの話に共感しました。水質担当の目線で意見を述べる事が出来るようになりたいと感じました。

【実習】各種計装設備

- ・ 午前中の座学で学んだことを実際に設備を使って体験出来たことが良い経験になりました。また普段の設備では行えない「暴走」という現象も体験することが出来、とても良かったです。今後、自分が計装機器を操作する時が来たら、今回の経験を活かしたいです。
- ・ 実際の設備を使用して研修が出来たため、普段職場で見ることばかりで、操作方法などの知識がなく、苦労していた部分もこの経験から保守業者としっかり話が出来ると思う。
- ・ なかなか日頃触ることの無い設備を実際に自分で設定してみたり、動作するところを確認することが出来るとも良かった。たまたま人数も少なく、また時間もたっぷりあったのでしっかり学ぶことが出来ました。
- ・ 詳しい方々の説明をしていただき、業者目線ではなく自治体職員、プラントを運営していく目線だったので良かったです。
- ・ PID(自動調節計): 比例帯、積分時間、微分時間を変えることによってどう動きが変わるか体感出来てよかった。計装ループ試験: アイソレータなど役割がよく分からなかった機器の役割を理解できて良かった。水位計の原理と取扱: 普段なかなか出来ないレベルSWの動作試験を体感出来てよかった。
- ・ 今まで図面上の事しか知らなかったもので、実際に手を動かしてみて、点検、更生作業の難しさを知ることが出来た。その大変さをわかった上で、業者にも指示できるようにしたい。

令和2年度 技術技能研修「計装設備の基礎技術」受講生の主な感想

質問(1) 今後どのような研修が必要と思われますか

- ・ 上下水道の現場にある機械、計装、電気設備についての操作、整備といった実習。
- ・ テレメーターに関する研修があればよいと思います。
- ・ 故障の模擬体験
- ・ 化学系の研修もあつたら参加してみたいと思います。

質問(2) 研修環境についてお聞かせください

(運営方法について)

- ・ コロナ対策等、気を使われていて受講者として安心できました。
- ・ 研修設備が整っていて、実際の自分たちが管理する施設に近い状態で学べてよかった。
- ・ 多くの機材があり、他の研修にも参加したいと感じました。
- ・ 一通り実機がそろっており、休みの時間にも見る事が出来るので良い環境と思います。

質問(3) 今回の研修について、全体を通してどのように感じられましたか

- ・ 自分のように、下水の経験が浅い人でも計装設備のことが良く分かったので非常に良い経験だと思いました。今回学んだことを今後の業務にいかしていきたい。
- ・ 実技中心のこのような研修は、いくら座学を行っても得られない部分があるため、有意義であった。
 - ・ いつも何気なく見ていた計装盤やその中身。故障や修繕等の際に業者の方の見ていた、フローシートなど、仕組みや見方など少し理解が出来てよかった。これからは今まで以上に興味を持って計装設備を見ることが出来ると思った。
- ・ 講師と受講者の人数バランスが良かった。
- ・ 2日間と短かったですが、実習が多くとても勉強になりました。職場には様々な計装機器がありますが、触ったこともなかったので今後は今回の研修で学んだことを活かしていきたいです。
- ・ 関係者の方々は、皆さん受け答えが丁寧で気持ちよく研修を受けることが出来ました。他の職員にも薦めたいと感じました。

研修内容

ポンプ設備の基礎技術 (開催中止)

開催日 第1回：令和2年 6月 3日 (水) ～ 5日 (金)

第2回：令和2年 6月10日 (水) ～12日 (金)

研修日	研修施設	研修内容(予定)	手法	開始時間	終了時間
1日目	山崎実習所	開講式・オリエンテーション・自己紹介		13:30	13:50
		ポンプ設備の基礎知識	講義	14:00	15:50
		実習ポンプの構造	講義	16:00	17:00
2日目	山崎実習所	ポンプの分解・組立	実技	9:00	14:50
		芯出しおよび計測器の取扱	講義	15:00	15:30
		ポンプの芯出しと試運転	実技	15:30	17:00
3日目	山崎実習所	ポンプの特性と流量制御	講義	9:00	9:50
		その他ポンプ実習	講義	10:00	10:30
		その他ポンプ実習：カットモデル・管の速度水頭	実技	10:40	14:30
		その他ポンプ実習：ポンプ特性と流量制御	実技	10:40	14:30
		その他ポンプ実習：グランドパッキンの取替	実技	14:30	15:30
		その他ポンプ実習：ウォーターハンマー・キャビテーション・エアロック	実技	14:30	15:30
		情報交換		15:30	16:15
		修了式		16:15	16:30

研修内容

シーケンス制御の基礎技術（開催中止）

開催日 令和3年1月14日（木）～ 15日（金）

研修日	研修施設	研修内容(予定)	手法	開始時間	終了時間
1日目	山崎実習所	開講式・オリエンテーション、自己紹介		9:00	9:30
		シーケンス制御の基礎知識・制御機器の動作と図記号	講義	9:35	12:00
		シーケンス制御方式の違いによる長所と欠点	講義	13:00	13:20
		トレーニングユニット、研修工具の説明	講義	13:20	13:40
		シーケンスの基本回路の配線と組立て等	実技	13:40	17:00
2日目	山崎実習所	組立てた回路の故障発見等	実技	9:00	10:00
		電源の種類	講義	10:10	10:30
		実習装置等について	講義	10:30	11:00
		各種回路の動作解析、故障解析：スターデルタ回路	実技	11:10	14:00
		各種回路の動作解析、故障解析：電動機正転逆転回路	実技	11:10	14:00
		各種回路の動作解析、故障回路と結果発表	実技	14:00	15:00
		シーケンスに強くなるには	講義	15:10	15:30
		情報交換		15:30	16:00
		修了式		16:00	16:15

新型コロナウイルス感染拡大による「技術技能研修」の対応について

1. 研修の中止

年度当初は例年通り、5 分野の研修を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、『ポンプ設備の基礎技術』及び『シーケンス制御の基礎技術』を中止しました。

2. 募集定員の変更

研修会場での新型コロナウイルス対策を効果的に行い受講生の皆様の安全を考え“募集定員”の変更をしました。(下表のとおり)

研修名	最終 受講者数 (人)	募集定員 (人)		開催回数
		変更	当初	
水道一般の基礎技術	19	32	48	2回
下水道一般の基礎技術	9	18	24	1回
計装設備の基礎技術	14	36	36	2回
シーケンス制御の基礎技術	7	18	24	1回

※「シーケンス制御の基礎技術」は中止しましたが、受講生は確定していました。

募集定員(158名)変更後の応募者数は73名で、最終受講者数は49名でした。

3. 研修施設の変更

ソーシャルディスタンスを確保するため、従来の教室より広い「実技教室」で講義を行いました。

実技は、班分けされた少人数で実施するため、従来の講義を受講する教室を使用しました。

4. 実技研修内容の変更

目からの接触感染を防止する目的で、顕微鏡 1 台を使い画像をモニターに映し一度に全員が見えるようにしました。

スペースの狭い実習室では、班を 2 つに分け(2~3 人)2 つの実習を入れ替えながら同時進行しました。この実習では、実習時間 3 時間であったものを 1 時間 30 分に短縮して実施しました。

5. 受講生への感染対策

体調管理(発熱・体調不良)の徹底、事前の「健康チェック表」記入をお願いしました。

研修時にはマスクを常時着用とし、手洗い・手指消毒・うがいの励行、咳エチケットの実施をお願いしました。また、人との距離が取りにくい実習実技時は、ゴーグルまたはフェイスシールドを着用しました。

休憩中も含めソーシャルディスタンスの確保を意識し、近距離での会話や大声の発声には注意し、不要不急の接近・接触を控えるよう注意喚起しました。

6. 主催者の対策

受付時の接触を避けるため、広い空間で行い、アクリル板及びビニールカーテン越しに実施しました。

受付の際に、受講者及び講師の体調確認、検温を実施しました

各研修室にて、手指消毒用アルコールを設置し、講義における飛沫防止のため、アクリル板を設置しました。

講師は、受講生と同様の感染対策に加え、マスク着用またはアクリル板越しによる講義をお願いしました。

屋内会場では、事前に窓・ドアの開放により十分な換気を行い、研修中も換気状態を確認し、換気を実施しました。

研修終了後は、使用した研修設備や共用施設、工具類などの消毒を実施し、配水管材料については水道水による流水摩擦洗浄を実施しました。